

私は、千葉県で知的障がい養護学校(当時)教諭として11年勤務し、その後、わが国初の障がい教育・福祉を専門とする植草学園短期大学の設立に参加、2年間講師として勤務した後、2001年4月に岩手大学教育学部に知的障がい教育学分野の専任講師として着任しました。

初めて生活する岩手の地で早々に気が付かれたことが、障がい福祉の質と量が共に充実していることでした。その理由を探る中で、程なくしてカナン の 園 の存在を知ることとなりました。カナン の 園 の事業でさらに驚かされたのは、製造されている「カナン の パン」が、盛岡市内の多くのスーパーマーケットでふつうに販売されていることでした。これほどの量のパンを一般市場で流通させるカナン の 園 の力に



名古屋恒彦先生。

は心底驚かされました。もちろん量だけではなく、本当においしい、質の高い製品を流通させていることも大きな驚きでした。このことは、利用者の方々、そして職員の方々の事業への熱量のなせる業でしたが、カナン の 園 の掲げる高い理念——地域で当たり前前に生きる姿の実

現——の具現化でもあります。私は特別支援教育をライフワークとする者ですが、特別支援教育にはときに、その方法や結果にことさら特別さが求められることがあります。特別支援学校でも、ものづくりと販売が行われますが、製品の質よりも「特別支援学校の生徒が作った」ということで特別な価値が付与され、購入されるといふこともあります。しかし、私は真の特別支援教育とは、当たり前前を実現していくことであると考えています。特別支援学校の生徒が作ったから売れるのではなく、品が良いから売れるという当たり前前を大切にしたいのです。逆も真なりで、製品の質が悪ければ売れない、このような当たり前前とも向き合い、良い品を、よりたくさん作っていくことに、真の教育

的な価値があります。とはいえ、教育において、当たり前前をつくりだすことは、実はとても難しいことです。われわれ教師が最大限の努力を重ねることでようやく、周囲から見ればなんとということのないごくふつうの日常が実現するのです。そのような当たり前前の日々を積み重ねることに、真の自立とか幸福とかが成り立つのではないのでしょうか。カナン の パンに出会い、その背後にある理念に共感を覚え、はや23年が過ぎました。今日なおとどまることのないカナン の 園 の事業は、2001年時点からはるかに豊かに多様に展開しています。その背後には変わることのない理念があるのであり、ゆえに私のカナン の 園 への共感と敬意は変わることはないのです。

当たり前前を実現する値打ち



143

全日本特別支援教育研究連盟理事長 植草学園大学名誉教授
社会福祉法人カナン の 園 評議員 名古屋恒彦

No.143
発行日/2024年7月15日
編集/社会福祉法人カナン の 園
〒028-5133 岩手県二戸郡一戸町中山字大塚4番地7
TEL 0195 (36) 1026
FAX 0195 (36) 1027
ホームページ
http://www.canaan-jp.net/
E-mail/honbu@canaan-jp.net

編集者 社会福祉法人カナン の 園
〒028-5133 岩手県二戸郡一戸町中山字大塚四番地七

発行所 東北障害者団体定期刊行物協会(略称TSK)
〒980-0874 宮城県仙台市青葉区角五郎一丁目二二六 頒価百円

トピックス ～カナン牧場から～

本年4月から一戸町の学校給食でカナン牧場のコッペパンを使っています。地元の子もたちにカナン牧場のパンを日常的に食べてもらえるよう、これまで何度も学校給食で使ってもらうことを願ってきましたが、このたび、一戸町教育委員会や食育センターの皆さまの協力により、それが実現しました。学校で提供される際にはカナン牧場のパンとして校内放送していただいていると伺い、うれしく思っています。



Scope & Spot

小さき群の里事業所で地域の方と日中事業所に提供のお弁当と総菜を作り、グループホームののさわで暮らしている土屋恵美子さん。恵美子さんの楽しみの一つは、生き物を観察したり飼育することで、熱帯魚とカブトムシやクワガタを育てています。カブトムシは一昨年職員と一緒に採集しました。本などで調べながら冬も越し、今では3世代目！になります。幼虫のときは土を交換したり、乾燥しないように水を吹きかけ朝晩お世話をし、6月にはさなぎから無事成虫になりました。今年も生きものたちの成長を楽しみにしながら日々の仕事を頑張っています。

●機関誌「カナン の 園」では、読者の皆さまからの声もお待ちしております。お読みになってのご意見、ご感想などを事務局までお寄せください。

社会福祉法人カナン の 園

- 福祉型障害児入所施設 奥中山学園
☎0195-35-2314 FAX 0195-35-3406
- 多機能型事業所 ゆいまある
☎0195-35-2314 FAX 0195-35-3406
- 多機能型事業所 小さき群の里
☎0195-35-3080 FAX 0195-35-2780
- 共同生活援助事業所 ののさわ(グループホーム1～6)
☎0195-35-2232 FAX 0195-35-3405
- 生活介護事業所 ヒソブ工房
☎019-646-8581 FAX 019-646-8582
- 共同生活援助事業所 HANA(盛岡地区グループホーム1～5)
☎019-646-8581 FAX 019-646-8582
- 特定相談支援事業所 らぼーる
☎019-656-6863 FAX 019-656-0553
- 生活介護事業所 シャローム
☎0195-35-2883 FAX 0195-35-2884

- 就労継続支援B型事業所 ウイズ
☎0195-36-1120 FAX 0195-36-1121
- 就労継続支援A型事業所 カナン牧場
☎0195-35-2583 FAX 0195-35-3145
- 共同生活援助事業所 美空(グループホーム1～10)
☎0195-35-3844 FAX 0195-35-3840
- 居宅介護事業所 れもん
☎0195-35-3844 FAX 0195-35-3840
- 障害児相談・特定相談支援事業所 むつび
☎0195-35-3665 FAX 0195-35-3840
- 多機能型事業所 となんカナン
☎019-681-3004 FAX 019-637-2601
- カナン市場(カナン の 園商品一括取扱所)
☎019-639-3120 FAX 019-637-2601

学校法人カナン学園

- 三愛学舎(特別支援学校高等部・知的)
☎0195-35-2231 FAX 0195-35-2781

本誌は環境に配慮した紙を使用しています。

「書き初め」に込めた思い

三愛学舎を卒業後、数年の時を経て、昨年9月からシャロームに通う西館渡さん。新年の書き初めで書いた「感謝」のこぼに込めた思いについて、改めて渡さんに文を書いてもらいました。



「感謝」の書き初めを手に笑顔がすてきな西館渡さん。

渡さんは、老若男女問わず、みんなにかわいがられる人なんだろうな、と思います。年長のMさんなどは、彼の姿を見かけるなり近づき「元気い？かわいいねえ」などとうれしそう。それに対していつも静かに笑っている渡さん。きっと、この姿が周りの人の心をつかむのでしょう。

なかなかのイケメンなのに生傷がよくあるので「なんで？」と尋ねてみると、家の「ネコにやられた」と本人。「え、本当？ トラと闘ったんじゃないの？」と冗談を向けても、静かに笑

うだけの渡さんですが、案外やんちゃなところもあるのかなと思います。

それに「趣味は筋トレ」と公言するだけあって結構な筋肉系です。というのも先日彼と腕相撲をしたのですが、危うく負けそうでした。想像以上に腕力があります。

若さと爽やかさと、内に秘めた力を発揮して、これからもよろしく願います。

（シャローム事業所副所長 成田知道）

おひさま会で行った日帰り旅行

コロナが出る4年前までは、おひさま会（※）の活動で1泊旅行に行ったりできたけど、コロナになって行けなくなっていました。去年になって、やっとおひさま会の活動ができるようになり、みんなと話し合いをして、8月に南三陸の1泊の旅行の計画をして行くことになったけど、コロナになった人がいたので行けなくなりました。とても残念に思いました。

そのあと、11月に役員の人たちみんなと話し合っって、八幡平ハイツの日帰り旅行の計画を立てました。やっと旅行に行けるようになったので、とてもうれしかったし、楽しみにしていました。

た。そして、2月におひさま会の日帰り旅行で八幡平ハイツにみんなと行きました。

一番楽しかったことは、カラオケ大会で大好きなMISIAの「愛のカタチ」を歌ったり、温泉に入ったりしたこと。みんなのカラオケの歌もとてもうまいなあと思いました。お昼ごはんは、とても豪華でもおいしかったです。また、日帰り旅行や泊まる旅行も行ってみたいです。

（GHノエル入居者 三上美幸）

※おひさま会は、生活支援センターが運営するグループホーム利用者さんたちの自治会。

待ってました！ るんだるんだの開放Day

奥中山学園には、作業棟を活用した遊びの場「るんだるんだ」があります。絵本、おもちゃ、遊具、屋内砂場などがあり、地域にも開放してきました。コロナ禍で利用制限をしていましたが、このたび再開し、早速地元の学童クラブの子どもたちが遊びに来てくれました。

「先生、早く遊びたいです！」。るんだるんだに着いた子どもたちの第一声です。学童クラブの遠足でやってきて、施設利用の説明をしている最中でしたが、そんな声が出るほど子どもたちには魅力的な遊具や玩具、絵本がある場所です。

学童の子どもたちは現在1年生から6年生まで在籍していますが、コロナ禍で来られない時期を過ごし、待ちに待っ

た久しぶりのるんだるんだ開放Day。

一通りの説明が終わると一斉に遊び始めました。真っ先にトランポリンを目指す子、海外製の木のおもちゃでマゴトを始める子、まずはゆっくりビーズクッションに座って絵本をじっくり読み始める子。

それぞれが好きな遊びで友達と一緒に集まり、あつという間に楽しい時間が過ぎました。「先生、まだ遊びたいです」と、時間になっても、なかなか帰る気持ちにはなれない子どもたちは、よほどここが楽しかったようです。

何度訪れても時間を忘れて遊べる、子どもたちのそんな憩いの場所になったに違いありません。

（奥中山学童クラブ児童指導員

中村大介）



楽しい！ がはじける子どもたち。

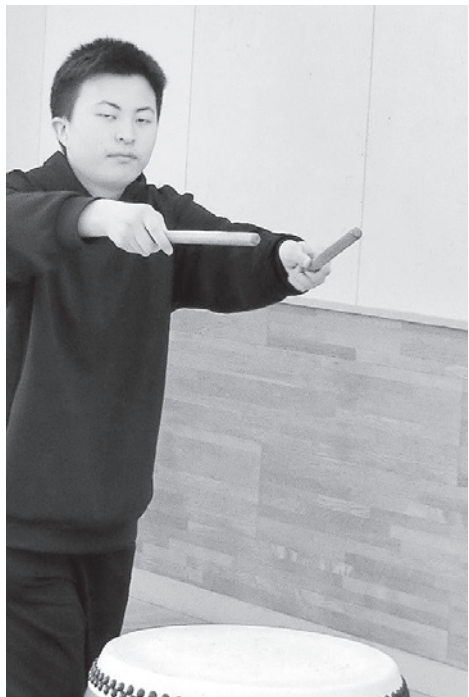


MISIAを歌っていい気持ち（三上美幸さん）。

「の学校に託したい

見通しを持っていない状況が不安なわが子にとって、未知ともいえる高校を選ぶことは、本当に大変でした。今までにないほど緊張した入試、練習とは全く違った面接に落胆。見たことのない姿をたくさん見ることができ、この学校を選択して進み出したところから新たなスタートを切ったと思っています。たくさんの人と友達になりたい、これが本人の希望です。社会に出て困らないこと、自立することが親の希望です。そして、何より楽しい学校生活を送ること。全てがこの三愛学舎にあると思っています。

息子は学校見学の際に調理が毎日あることに難色を示していましたが、カナン祭を見学したときに何かを感じた



三愛太鼓に取り組む古里脩二さん。

ようでした。楽しそうな姿、自分の好きなことを発表する姿に自分を重ねることができたのだと思っています。今では毎日バスと電車で通学し、苦手な衣服の調整や私物の管理もサポートしてもらいながら、順調に学校生活に馴染（なじ）んでいっていると思います。季節ごとの行事、四季折々の奥中山の景色、まだまだ、未知なる世界がありますが、地域の皆さんや先生方、生徒の皆さんと共に一つずつ吸収して楽しい毎日をご過ごしていけたらと思っています。どうぞよろしく願います。

（三愛学舎

本科1年生保護者 古里純子）

「私」と「さんさ踊り」、そして夢

さんさ踊りを始めた頃、最初はいまぐれで挫折もありました。でも、太鼓の師匠が何度もゆっくり丁寧な教えをいただきました。

だんだんうまくなってきて、太鼓をたたくことが楽しくなりました。そして1人の師匠が伝統さんさを踊る姿に



盛岡市肴町商店街アーケードでのさんさ踊りパレード（中央が久保田峻さん）。

憧れて、もっと上を目指したいと思い、伝統ある「山岸さんさ踊り保存会」に所属することになりました。そこではチャグチャグ馬つこや東北絆まつり、いわて国体にも出させていただき、天皇陛下の前でもさんさを踊らせていただきました。私にとって宝物の思い出です。

私は中野製麺で働きながら、ためたお給料でいろんなお祭りを見に行くのが楽しみです。障がいのある人もない人も共にお祭りを楽しむ精神で活動している団体です。関心のある方はぜひ一緒に活動しましょう！

（三愛学舎 2013年度卒業生

久保田峻）

ことばひろい 第41回

地球の表面の最後の一人

ヒソプ工房事業所支援員
小川明佑

今から10年ほど前、私はとんかんカナン事業所の手芸班で利用者さんと一緒に仕事をしていました。いつものように作業をしていると、Rさんが得意の編み物をしながら言いました。

「地球の表面の最後の一人になるまで頑張りたいたいと思います！」

「?!」
表現が面白かったので驚き、私は少し考えてから「長生きして最後まで生き残りたいということですか」と尋ねました。すると「うーん」とどう受け取っていいかわからない返事。そしてまた何事もなかったかのように編み進めていました。

丸い地球の上に人が立っていて、その中の一人として自分も立っているような光景を想像しているのかなと思うと、クスッと笑ってしまいました。それから、時々同じ会話が続きまし

た。私は「長生きできたらいいね」「でも地球の最後の一人はつらいな」など返事してみました。Rさんの反応は薄く、また同じように「私は地球の表面の最後の一人になれるように頑張りたいです！」と返ってくるのでした。繰り返される〈宣言〉に、Rさんは何か聞きたいことや不安があるのかなと思いはじめました。もし死んだらどうなるか、長生きできるように…とか、それらしい言葉を返したとしても、Rさんには答えとして響かないであろうことは分かっていました。利用者の方々との関わりで、自分の経験からは答えが出せないこと、伝えられないこともたくさんあると、このとき改めて思ったのでした。

それから数年たち、長年お世話になり当時のチャブレンだった中条先生が亡くなられました。先生はよく手芸班



の皆さんが作業する傍らでお話したり見守ってくださいました。先生が亡くなられたと伺ったとき、Rさんの言葉を思い出しました。この頃にはもう、「地球の表面の最後の一人になります」とは話さなくなっていました。ただ私は以前の心配を思い出し、Rさんがどう受け止めるのかが気になったのでした。

先生とお別れをするため、Rさんも含めた何人かの利用者さんがお葬式に参列しました。

私はRさんと一緒に参列はできませんでしたが、帰ってきた後に同行した職員から様子を聞きました。Rさんは棺に眠る先生の顔をのぞきこんで、その後優しく手を振っていたそうです。お別れのあいさつを喜んでくれていた中条先生の笑顔も浮かんできて、私も温かい気持ちになりました。

式が終わわりRさんたちがとんかんカナンに戻り、また変わらない様子でいつものように編み物をしていると、時刻は午後2時に。時計の針が2時ぴったりになったときにRさんが突然「先生は土の中に移動しました！」と言いました。

少し考えて火葬の開始時間か！と気付いた私は「まだだと思えますよ」と返事をすると、ピンと来ていない様子。「すぐにお墓に入るわけではない、お骨はしばらく家族といるんだよ」と伝えると合点のいった様子で、また淡々と編み物を始めていました。

そして私もまた、なるほどと思ったのでした。人は亡くなったら地球の表面から地下（土の中）へ移動するのだと。地球の表面から土の中に移っていくシユールな画像を頭に思い浮かべて、Rさんの受け止め方、好きだなと思ったのでした。

「ちなみに先生は、天国に行くと言っていましたよ」と付け加えると、ちらりとこちらを見て、また編みものを続けていました。

Rさんの内面の豊かさに触れ、ふるまいと言葉にとても大切なことを教えられたような気持ちになり、Rさんも皆さんも私自身も、地球の表面にいる間は温かな場になつこりと過ごせませすように、と思ったのでした。

社会福祉法人カナン^の園 2023年度 決算報告 (単位：円)

*詳しい内容等は当法人ホームページをご覧ください。

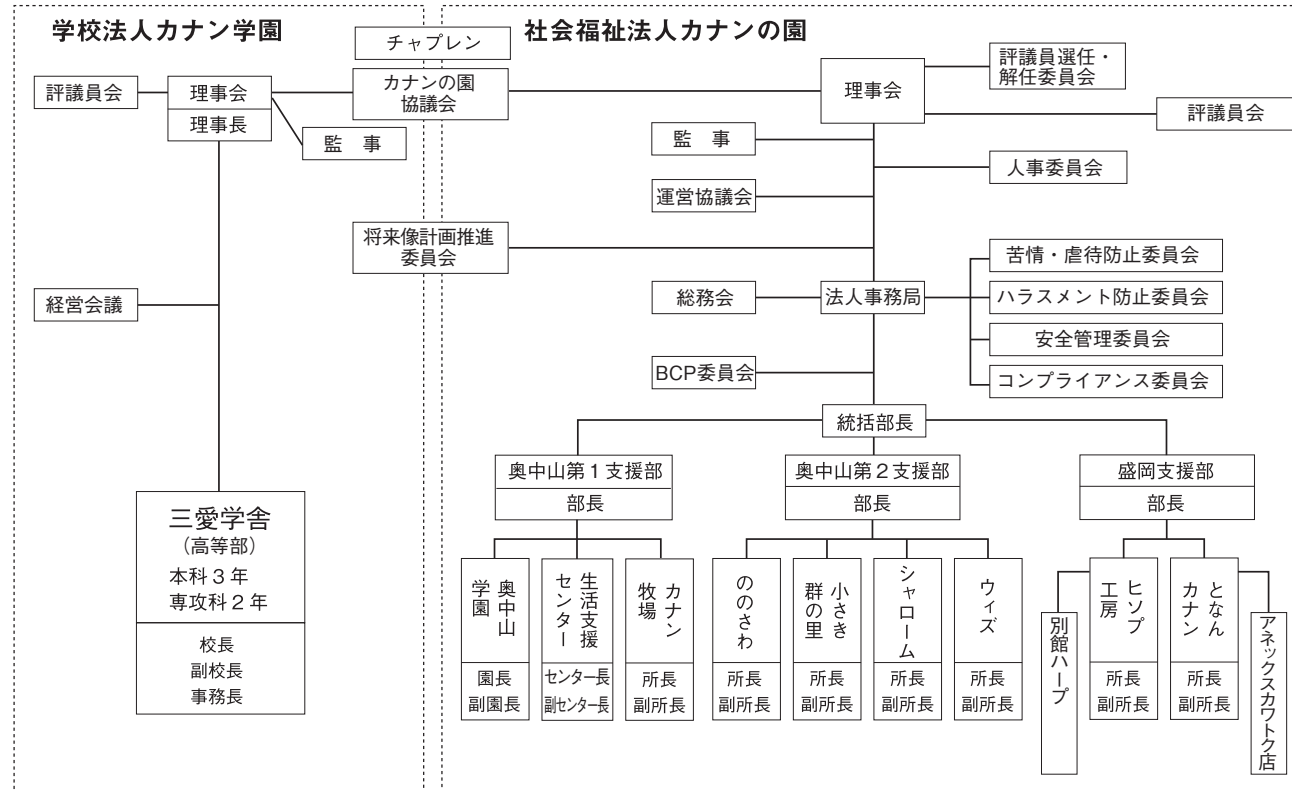
社会福祉事業会計

事務局、奥中山学園、生活支援センター、カナン牧場、ののさわ、シャローム、ヒソプ工房、となんカナンの8拠点区分を合算したものです。

貸借対照表			
2024年3月31日現在			
資産の部		負債の部	
流動資産	997,125,901	流動負債	84,359,885
固定資産 (注①)	1,171,358,303	固定負債 (注②)	152,597,071
		負債の部合計	236,956,956
純資産の部			
		基本金	511,975,824
		国庫補助金等特別積立金	317,365,225
		その他の積立金	205,150,538
		次期繰越活動収支差額	897,035,661
		(内、当期活動増減差額)	16,288,013
		純資産の部合計	1,931,527,248
資産の部合計	2,168,484,204	負債・純資産合計	2,168,484,204

- 注：
- ①固定資産額の内訳の内、基本財産は、土地72,446千円、建物737,238千円等です。
 - ②固定負債の内訳は、福祉医療機構等借入金76,952千円、車両リース債務10,228千円、岩手県社協退職引当金65,417千円です。
 - ③サービス事業活動増減の部の収益は、給付費等1,165,778千円、就労支援事業183,492千円、寄附金7,708千円です。費用は、人件費846,993千円、事業費・事務費248,169千円、就労支援事業213,408千円、減価償却費83,706千円です（国庫補助金取崩額、利用者負担軽減額除）。
 - ④サービス活動外増減の部の収益は、障害者雇用調整金、県社協退職運用益等、費用は利用者等外給食費等です。
 - ⑤特別増減の部は、固定資産取得のための施設整備補助金収入です。

2024年度 カナンの園組織図



事業活動計算書	
(2023年4月1日～2024年3月31日)	
サービス活動増減の部 (注③)	
サービス活動収益計	1,356,977,624
サービス活動費用計	1,363,421,358
サービス活動増減差額	△6,443,734
サービス活動外増減の部 (注④)	
サービス活動外収益計	31,830,190
サービス活動外費用計	7,402,931
サービス活動外増減差額	24,427,259
特別増減の部 (注⑤)	
特別収益計	3,862,700
特別費用計	5,558,212
特別増減差額	△1,695,512
当期活動増減差額	16,288,013
前期繰越活動増減差額	886,947,648
当期末繰越活動増減差額	903,235,661
基本金・その他の積立金取崩額	4,000,000
基本金・その他の積立金積立額	10,200,000
次期繰越活動収支差額	897,035,661

法人の運営

1 運営方針

《理念体系》
2024年度も引き続き、創立以来掲げてきた「基本理念」「三つの願い」「運動体としての三本の柱」を一体の理念体系として運営を推進致します。「HPをご覧ください」。

第8次将来像計画に則り、利用者への安心・安全の提供、職員も含め希望の持てる環境づくりに取り組むために、地域資源の活用、新しい拠点整備等、重点的な人材確保対策等を実行します。

《一体的運営》
利用者支援の充実や保護者の要望に応えるために、利用者、保護者、役員には人材不足など現在の福祉業界を取り巻く状況を共有し、理解していただきながら一体となって運営していく体制を目指します。

《人材確保》
生産年齢人口の減少に伴う著しい担い手不足が示されており、人材確保は法人最大の課題であります。事業運営の継続に当たっては、安定的な職員体制が必要不可欠であり、そのことを実現するために第8次期間中により効果的な人材確保対策を実行致します。

《健全経営》
国の「トリプル改定」（医療・介護・障害福祉）を受けて、福祉サービス単体では事業運営が厳しくなる中、法人として多様な福祉サービスの提供や新たなサービスを実施し、経営分析を行い現状についての情報共有を図り、持続可能な健全経営を目指します。

2 重点課題への取り組み(抜粋)

(1) 人材確保・定着・育成対策の実施

- ・ 通年採用を基本に、新卒者の他に中高齢者の採用にも積極的に取り組みます。
- ・ 高校、専門学校、大学などへの広報活動を

積極的に展開します。

- ・ 奨学金返還支援、職員住環境の整備など福利厚生改善策を実施し、職員の定着と確保を図ります。
- (2) 利用者支援の充実
 - ・ 感染症対策など事業所間の連携強化と研修による職員の資質向上を図り、併せて生活環境、労働環境の改善など、利用者個々に応じた支援の充実を図ります。既存建物の体力度調査等大規模点検を実施し、その結果を基に利用者の安心・安全な環境を守るため施設改修整備等基盤整備を図ります。
- (3) 第8次将来像計画の推進
 - ・ 第8次将来像計画策定委員会を常設の推進委員会に位置付け、同計画の進捗状況を検証すると共に、その推進に当たります。
- (4) 法人組織の強化と法令遵守対策の実施
 - ・ 人事委員会、総務会等各委員会を継続開催し、法人内の情報交換を密にし連携強化を図ります。
 - ・ コンプライアンス委員会を法令遵守の中核組織として位置付け、その運営を徹底します。
 - ・ 新たに運営協議会の設置により、事業所運営の透明化と充実を図ります。

